

# 山行報告書

報告書作成

2005年8月3日

山名 [山域]	奥穂高岳から西穂高岳縦走	目的と方法	難路であるジャンダルム縦走
登山期間	2005年7月22日(金) -24日(日)	山行形態	前夜発1泊2日(小屋泊)
参加人数	3名(男性2名女性1名)		

## 行動記録

7/22(金)岡崎IC(20:15)===ひるがの高原SA(22:30)====新穂高温泉無料駐車場(00:00)駐車場内テント宿泊  
 7/23(土)新穂高温泉無料駐車場、出発(05:15)----穂高平小屋(06:30)---白出沢出合(07:20)--渡渉(09:40)  
 ---穂高岳山荘(14:30)  
 7/24(日)穂高岳山荘(05:30)---奥穂高岳(06:30)---馬の背(06:50)---ジャンダルム取り付き(07:40)--ジャンダルム頂上(07:50)---天狗のコレ(09:20)--天狗ノ頭(09:50)---間天のコレ---間ノ岳(10:45)----赤岩岳(11:20)--西穂高岳(12:10)---ピラミットピク(12:55)---西穂独標(13:15)---丸山---西穂高山荘(15:25)---新穂高口-プウェイ西穂高口(16:35)~~穂高温泉駐車場(16:55)===飛騨清見IC===豊田東IC===旧岡崎市民病院跡地P(21:35)



## 日誌

**7/22日(金)** 晴れ、岡崎を20時に出発して東名高速岡崎ICより高速に入る、途中、ひるがの高原SAでトイレ、小休止ついでに軽い夜食でもと食堂に立ち寄るがもう既に食堂の営業は終了していた。何か腹の足しにと菓子等購入、いざ出発。新穂高温泉Pに0時ちょうどに到着、駐車場は既に満車状態であったがラッキー - な事に2台程駐車スペースが空いていた。車を止め駐車場内の空き地にテントを設営し就寝に着く。

**7/23(土)** 雨、4時30分起床、あいにく小雨の空模様、又も我輩は相変わらず雨男であった。各自朝食を取り装備の点検し雨合羽を着用し5時15分出発小雨の空を見上げ雨が止むのを願いつつ登山指導センターへ計画書を提出して右俣林道を歩き始める。歩き始める事約1時間、左に穂高平小屋が見えた、小屋でしばしの休憩を、朝食の食べ残しのソ - セイジにかぶりつく、15分程休憩して出発。整備された砂利道の登山道を白出沢出合い迄歩く、相変わらず雨は小雨だが一向に止む気配はない、やがて分岐点の白出沢出合小屋に到着する、雨も止め始めてきた、樹林地帯の中の登山道をしばらく歩く、途中で休憩して行動食をとり雨具を脱ぐ、やがて木橋で右岸に渡り岩切道へ荷継小屋跡の石積みを見ながら先へやがて岩ゴロの急斜面を登る、沢の左岸沿いを巻いて雪渓をやり過ごすペンキ印を辿って登るが時々見失う、標高差約1500mダイレクトに登るコースは多くの悪場がありけして楽なコースではない、やがて目の前に穂高山荘飛び込んでくるが、ハレハレの私には遙か先に見える。無事山荘に到着 時 分、夕食17時50お腹がペコペコだ山小屋の食事は何時来ても美味しい、明日に備えて沢山頂く、19時少し早い眠りに入る。

**7/24(日)** 04時起床、寝床を整頓して出発の準備を、5時から朝食を頂けるとのことでさっそく並ぶが山荘の若旦那に御来光を見て来からと強く勧められる、私は今回で4度目の宿泊でもあり直下の濁沢には夏、秋と4年間来ているのでいままら御来光はと、渋々外へ行き御来光を、本日縦走の安全を祈り御来光を。朝食後5時30分奥穂高頂上を目指し出発、私昨日の疲れ、筋痛もなくベストコンディション。6時30分奥穂高山頂、6時50分馬ノ背を通過、やせた稜線、強風時には要注意、ロバの耳を通過、途中ガスで前方の目標が全く見えない、ペンキ印を辿って前進する、ホワイトアウトになってしまうと危険である。前方の視界が開けるの見ながらジャンダルム頂上を目指すジャンダルムを左に巻き、西穂高から回りこんでから山頂に上る、今回のメインでもある。07時50分頂上に立つ。ジャンダルムを後に、コブ尾根ノ頭から豊岩尾根ノ頭へ下り、飛騨側に出て、もろい岩稜を天狗のコレへ下る。コレには以前非難小屋が建っていたが今はない。天狗のコレからクサリ場を登る。ハイマツ帯から頂稜に出る天狗ノ頭に到達する。間天のコレへは、逆層のスラブ状岩壁を、長いクサリを伝って下る。更に小ピークを登降下し、間ノ岳の山頂に此处からは西穂高山頂が目の前に見える。間ノ岳から西穂高までは、小ピークをいくつか登下降する。この先まだまだ気の抜けない悪場があるが注意していかなければ、小ピークを登下降してしばらくすると長いクサリ場に此のクサリを伝い、ハイマツのやせた岩稜を登ると西穂高岳山頂に到達する。山頂に着いた頃空は晴れ間を見せ其の日差しがとても強烈で露出した腕などに突き刺さる様な夏の日差し其の物である。12時10分登頂此れより西穂高山荘を目指し進む。時折雨がパラパラとして来た。ピラミットピク12時55分、西穂独標13時15分、丸山、西穂高山荘15時25分、新穂高温泉駐車場、飛騨清見IC、旧岡崎市民病院跡地P21時35分。